



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 ワイエイシー株式会社

コード番号 6298 URL <http://www.yac.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 武文

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 宮本 忠泰 TEL 042-546-1161

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日 平成25年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,329	△23.8	40	△88.8	82	△71.7	25	△87.0
25年3月期第2四半期	10,924	65.5	360	101.9	292	76.8	195	△37.1

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 64百万円 (△60.5%) 25年3月期第2四半期 164百万円 (△58.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	2.86	2.85
25年3月期第2四半期	21.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	18,934	11,026	57.4
25年3月期	21,379	11,047	50.9

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 10,859百万円 25年3月期 10,890百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	0.9	200	△18.6	230	△25.6	130	△32.1	14.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	9,674,587株	25年3月期	9,674,587株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	755,317株	25年3月期	755,317株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	8,919,270株	25年3月期2Q	8,919,335株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では緩やかな回復基調が続いているものの力強さに欠き、欧州では財政問題の影響により停滞しております。中国や新興国では成長鈍化が長期化する傾向にあり、全般的に視界不良の状況が続いております。

日本経済においては、金融・財政政策による円高の是正や株価の上昇傾向に伴い、経済指標においても改善が見られますが、今後実感を伴う回復が待たれる状況にあります。

このような経済状況のもとで、当社グループは、緩やかながらも成長し続ける中国及びアジア地域を中心に営業展開を図るとともに、収益の確保にむけて原価低減及び経費削減を推進してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高83億29百万円（前年同四半期比23.8%減）、営業利益40百万円（前年同四半期比88.8%減）、経常利益82百万円（前年同四半期比71.7%減）、四半期純利益25百万円（前年同四半期比87.0%減）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更を行ったため、前年同四半期比較にあたっては、前年同四半期数値について遡及適用後の数値に基づき算出しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## (産業用エレクトロニクス関連事業)

ハードディスク関連装置分野では、パソコンからウルトラブック・タブレット端末等への移行によりHDD需要が停滞した影響が大きく、UVキュア装置や搬送装置等の拡販に努めたものの、業績は低調に推移しました。

半導体関連装置分野では、パソコンやデジタル家電向けの需要が低迷し、設備投資が先送りの状況が続き、業績は低調に推移しました。

液晶関連装置分野では、スマートフォンやタブレット端末用の中型プラズマエッチング装置やアニール装置の国内外への拡販により、業績は堅調に推移しました。

加熱処理装置分野では、電子部品・自動車関係用加熱装置等が一部先送りとなりましたが、液晶用加熱装置の販売促進により、業績は堅調に推移しました。

太陽電池関連装置分野では、海外における高効率パネル用装置の販売に努め、業績は低調なものから回復基調に転じました。

これらの結果、当セグメントの売上高は77億23百万円（前年同四半期比25.7%減）となり、セグメント利益は2億58百万円（前年同四半期比55.0%減）となりました。

## (クリーニング関連その他事業)

クリーニング関連装置分野では、国内のクリーニング需要の減少傾向が続く厳しい状況でしたが、欧米及び中国において営業活動の強化を図り、業績は順調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は6億6百万円（前年同四半期比15.8%増）、セグメント利益は45百万円（前年同四半期比11.1%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は137億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億55百万円減少しました。主な要因は、仕掛品の減少26億87百万円、現金及び預金の減少16億1百万円、有価証券の減少7億69百万円であり、受取手形及び売掛金の増加19億6百万円であります。固定資産は52億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億10百万円増加しました。主な要因は、投資有価証券の増加8億10百万円であります。その結果、総資産は189億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億44百万円減少しました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は47億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億1百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少17億72百万円であります。固定負債は31億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億22百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少4億41百万円であります。

その結果、負債は79億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億23百万円減少しました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は110億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円減少しました。主な要因は、利益剰余金の減少63百万円、為替換算調整勘定の増加22百万円であります。

この結果、自己資本比率は57.4%（前連結会計年度末は50.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想(通期)につきましては、ハードディスク関連装置分野の低迷及び半導体関連装置分野の回復遅延等の理由から、売上・収益が前回予想を下回る見通しとなりましたので、業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日(平成25年11月11日)公表いたしました「平成26年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(在外子会社の収益及び費用の本邦通貨への換算方法の変更)

在外子会社の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、在外子会社における海外売上高の重要性が増してきていること、また昨今の著しい為替相場の変動に鑑み、一時点の為替相場を用いるより、期中平均相場を用いる方が、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させると判断されたため、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

これにより、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期連結累計期間の売上高は4,553千円、営業利益は3,666千円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ421千円増加しております。

また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は22,710千円増加し、為替換算調整勘定の前期首残高は同額減少しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,041,953	6,439,966
受取手形及び売掛金	3,740,033	5,646,088
有価証券	854,354	85,312
商品及び製品	140,322	197,936
仕掛品	3,503,544	816,337
原材料及び貯蔵品	299,348	273,183
繰延税金資産	203,027	233,845
その他	98,501	37,658
貸倒引当金	△2,167	△6,924
流動資産合計	16,878,917	13,723,405
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,262,950	2,263,788
減価償却累計額	△1,687,877	△1,714,938
建物及び構築物(純額)	575,072	548,849
機械装置及び運搬具	224,700	196,653
減価償却累計額	△198,563	△182,108
機械装置及び運搬具(純額)	26,136	14,544
工具、器具及び備品	1,579,778	1,565,143
減価償却累計額	△1,246,482	△1,304,156
工具、器具及び備品(純額)	333,296	260,986
土地	2,374,622	2,374,622
リース資産	69,051	82,344
減価償却累計額	△43,641	△49,515
リース資産(純額)	25,410	32,828
建設仮勘定	538,671	562,583
有形固定資産合計	3,873,209	3,794,416
無形固定資産		
のれん	53,190	39,632
ソフトウェア	48,240	41,150
リース資産	18,379	16,274
電話加入権	13,562	13,562
無形固定資産合計	133,372	110,619
投資その他の資産		
投資有価証券	152,649	962,800
長期貸付金	230	230
繰延税金資産	203,920	201,807
長期滞留債権等	68,395	81,763
その他	146,900	151,086
貸倒引当金	△78,395	△91,741
投資その他の資産合計	493,701	1,305,947
固定資産合計	4,500,282	5,210,983
資産合計	21,379,200	18,934,388

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,769,362	2,996,791
短期借入金	1,168,483	998,695
1年内償還予定の社債	106,510	36,450
リース債務	17,051	14,245
未払法人税等	18,135	84,027
賞与引当金	138,108	150,822
製品保証引当金	29,454	27,161
未払費用	285,208	278,478
前受金	87,971	107,987
その他	156,547	80,500
流動負債合計	6,776,834	4,775,160
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	1,741,768	1,299,802
リース債務	29,046	37,308
繰延税金負債	66,964	67,964
退職給付引当金	676,092	683,051
役員退職慰労引当金	40,595	44,226
固定負債合計	3,554,467	3,132,352
負債合計	10,331,301	7,907,513
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,756,680	2,756,680
資本剰余金	3,582,276	3,582,276
利益剰余金	5,326,086	5,262,414
自己株式	△646,176	△646,176
株主資本合計	11,018,866	10,955,195
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,155	26,511
為替換算調整勘定	△144,983	△122,408
その他の包括利益累計額合計	△128,828	△95,897
新株予約権	—	3,180
少数株主持分	157,860	164,396
純資産合計	11,047,898	11,026,875
負債純資産合計	21,379,200	18,934,388

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	10,924,086	8,329,604
売上原価	9,475,301	7,122,421
売上総利益	1,448,784	1,207,183
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	413,856	467,298
賞与引当金繰入額	46,346	54,509
福利厚生費	17,154	25,815
賃借料	37,109	35,107
業務委託費	37,163	23,203
研究開発費	140,473	93,199
減価償却費	69,208	74,203
その他	326,564	393,402
販売費及び一般管理費合計	1,087,876	1,166,739
営業利益	360,908	40,443
営業外収益		
受取利息	2,928	2,941
受取配当金	2,069	2,331
為替差益	—	40,874
受取賃貸料	4,754	6,245
受取保険金	3,095	—
その他	7,877	10,347
営業外収益合計	20,726	62,740
営業外費用		
支払利息	19,766	17,359
為替差損	64,102	—
ファクタリング料	136	63
持分法による投資損失	650	260
その他	4,509	2,602
営業外費用合計	89,164	20,287
経常利益	292,469	82,897
特別利益		
固定資産売却益	—	142
負ののれん発生益	70	—
特別利益合計	70	142
特別損失		
固定資産除売却損	4,701	1,315
特別損失合計	4,701	1,315
税金等調整前四半期純利益	287,839	81,723
法人税、住民税及び事業税	38,744	78,135
法人税等調整額	59,230	△28,255
法人税等合計	97,974	49,879
少数株主損益調整前四半期純利益	189,864	31,844
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△5,969	6,323
四半期純利益	195,834	25,520

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	189,864	31,844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,562	10,568
為替換算調整勘定	△18,608	22,575
その他の包括利益合計	△25,170	33,144
四半期包括利益	164,693	64,988
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	170,878	58,452
少数株主に係る四半期包括利益	△6,184	6,535

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業用エレクトロ ニクス関連事業	クリーニング関 連その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	10,400,611	523,474	10,924,086	—	10,924,086
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,400,611	523,474	10,924,086	—	10,924,086
セグメント利益	573,975	40,865	614,841	△253,933	360,908

(注) 1. セグメント利益の調整額△253,933千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業用エレクトロ ニクス関連事業	クリーニング関 連その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	7,723,515	606,088	8,329,604	—	8,329,604
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,723,515	606,088	8,329,604	—	8,329,604
セグメント利益	258,347	45,400	303,747	△263,303	40,443

(注) 1. セグメント利益の調整額△263,303千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(在外子会社の収益及び費用の本邦通貨への換算方法の変更)

在外子会社の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、在外子会社における海外売上高の重要性が増してきていること、また昨今の著しい為替相場の変動に鑑み、一時点の為替相場を用いるより、期中平均相場を用いる方が、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させると判断されたため、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。